

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと美術		科目コード	17Y360	担当者	昆 正子			
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの造形表現の理解と保育内容の研究						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	創造する喜びや楽しさを感じながら様々な造形活動を行うことができる										
2.	幼児が造形表現を楽しむために必要な環境づくりや援助について理解する										
3.	創造する喜びや楽しさを他者と共感し評価し合うことができる										
4.	材料・用具・技法の扱い方を理解し、適切に用いることができる					○	◎	○	◎	◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（50%） 臨時試験（40%） 受講態度（10%）					
保育者の資質として求められる造形表現の基礎技能について演習を行う。保育現場での実践事例を紹介し、その活動の目的や意義を説明する。学習した内容と作品は各自スケッチブックにまとめる。											
準備学修						課題等への対応					
予習・復習に年間30時間は確保してほしい。予習では教科書や前時に配布されるプリント等を熟読し、必要な用具や材料、計画などを準備しておくこと。復習では授業での学習内容をまとめ整理すること。また制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために授業時間外での制作を必要とする場合がある。						制作時間中教員が巡回指導し学生の質問・相談に応じる。提出物は適宜内容をチェックし、再度本人に返却する。必要であれば助言を書き込む。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション—幼児造形とは				第16回	オリエンテーション—これまでの学習の振り返り					
第2回	空間の表現（点と線を遊ぶ）				第17回	紙の変身—平面と立体					
第3回	色を楽しむ（色の探検）				第18回	紙の技—伝える・演じる1					
第4回	色を楽しむ（色相・明度・彩度）				第19回	紙の技—伝える・演じる2					
第5回	色・形を楽しむ（形の発見）				第20回	紙の技—伝える・演じる3					
第6回	色・形を楽しむ（触角の再発見）				第21回	紙の技—伝える・演じる4					
第7回	技法遊び体験1				第22回	演じる楽しさ—各種素材から					
第8回	技法遊び体験2				第23回	子どもの造形表現の発達1					
第9回	技法遊び体験3				第24回	子どもの造形表現の発達2					
第10回	技法遊び体験4				第25回	子どもの造形表現の発達3					
第11回	技法カタログ制作1				第26回	子どもの造形表現の発達（確認）					
第12回	技法カタログ制作2				第27回	自身の造形体験から保育を計画する（技法遊びの実践）					
第13回	技法カタログ制作3				第28回	園児との造形活動の提示と誘導、表現の展開と評価について					
第14回	保育造形の材料や技法の基礎理解（確認）				第29回	自身の造形体験から保育を計画する—実践を振り返って					
第15回	保育造形の材料や技法の基礎理解（保育現場での技法遊び実践事例から学ぶ）				第30回	自身の造形体験から保育を計画する—確認					
教科書・参考書				受講生へのメッセージ							
教科書：『幼児造形の研究 保育内容「造形表現」』辻泰秀編著、萌文書林 参考書：『保育をひらく造形表現』槇英子、萌文書林				制作の際には、汚れてもよい服装等、各自心がけること。材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。							